

演題登録システム管理担当: 須佐

1. 「診断病理」のオンライン化について

(1) 投稿・査読について

「診断病理」のオンライン投稿・査読システムの運用が平成 27 年 6 月 29 日より開始されました。詳細については、以下をご参照下さい。

<http://pathology.or.jp/kankoubutu/jour-jjdp.html>

(2) 閲覧について

「診断病理」の有料オンライン閲覧を委託して参りました「メディカルオンライン」を通じて、会員の皆様には、「診断病理」のフルテキストを無料でご覧頂けることになりました。

<http://www.medicalonline.jp/>

詳細は会員 HP 内をご参照下さい。

<https://center6.umin.ac.jp/oasis/pathology/shindanbyouri-150613.html>

2. “Pathology International” の Impact Factor について

Pathology International の 2014 年 Impact Factor は、1,691 と前年度より高くなり、2012 年に次ぐ高さとなりました。さらなる改善に向けた取り組みを始めたばかりでもありませんので、上昇傾向が続くよう、会員の皆様におかれては引き続きご支援を宜しくお願いいたします。

3. 第 61 回秋期特別総会一般演題 (ポスター) 募集中

平成 27 年 11 月 5 日～6 日開催の標記総会 (東京) における一般演題 (ポスター) を募集しています。

募集期間: 平成 27 年 7 月 21 日 (火) 正午まで

応募詳細: 以下の総会 HP をご参照下さい。

<http://www.jsp61.net/abstract.html>

応募資格: 筆頭演者は、日本病理学会の会員であることを原則とします。

(ただし海外在住外国人の応募についてはこの限りではありません)

入会手続きの詳細は日本病理学会事務局にお問合せ下さい。

その他: 演題登録に際しては一部日英併記をお願いしております。

またポスターも英文での作成を推奨しています。

お問合せ: jsp61@convention-system.net
 運営事務局

4. 第 104 回日本病理学会総会ご報告

同総会会長名古屋大学大学院医学系研究科 教授
 高橋雅英

第 104 回日本病理学会を 2015 年 4 月 30 日から 5 月 2 日にかけて、メインテーマとして「医の原点を見つめ、明日の病理学を拓く」を掲げ、名古屋国際会議場で開催した。メインテーマと関連して、特別講演では諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生に「鎌田流の「医の原点」を見つめてみる」というタイトルでチェルノブイリ、イラク、東日本大震災の被災地での医療支援活動のお話しをしていただき、会員に大きな感動を与えた。シンポジウムでは「明日の病理学を拓く」というテーマと関連した 3 つのシンポジウム「がんを周りから見る」、「新技術・新概念が拓く次世代病理学」、「感染症関連がんの cutting edge — 病理診断、病理標本からのアプローチ」を企画した。

特別企画としては「徒然病理医絵巻～女性病理医の日常～」と「海外で活躍する日本人病理医」という 2 つの新しい企画を行い、いずれも大変好評であった。特に前者は子供も同伴できる形式で会場を設営し、全国の女性病理医の良い交流の場となった。このほか「最先端研究セミナー」(4 企画)、「若手研究者教育セミナー」(3 企画)、「シンポジウム」(8 企画)、「ワークショップ」(6 企画) など多彩な企画を実施した。

海外研究者としては、Ming Zhou 先生 (米国) に泌尿器疾患病理、Ian Ellis 先生 (イギリス) に乳腺病理、Albert Roessner 先生 (ドイツ) に骨軟部病理について教育講演をしていただき、海外の一流の病理医の話を直接聞く機会が得られ、学会員の刺激になったと考えている。

一般演題の応募数は 1,242 題になり、そのうち学部学生のポスター発表は 120 演題であった。本総会では英語化の推進が重要なミッションであり、総会 Web サイトの英語バージョンの作成、演題登録における演者、所属、講演タイトルの日英表記、ポスター発表における英語による作成の推奨、一般口演における英語セッションの企画などを行った。約 4 割のポスターが英語で作成されており、英語化への 1 歩を踏み出すことができた。

尚、以下のご報告もご参照下さい。

※第 104 回日本病理学会総会市民公開講座の開催のご報告
<http://pathology.or.jp/ippan/shiminkouza/104-shiminkouza-150531.html>

※日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞授賞式の御報告

<http://pathology.or.jp/jigyoku/100syuunen/rookie-award-150508.html>

5. 胃癌 HER2 病理診断ガイドライン公開と乳癌 HER2 ガイドライン意見募集について

胃癌 HER2 ガイドライン作成委員会(委員長：森井英一)では、4月に標記ガイドラインを策定し、学会 HP で公開いたしました。ご参考にしていただければ幸いです。

参照 HP：http://pathology.or.jp/side/pdf/her2_guideline_0613.pdf

また現在策定中の乳癌 HER2 ガイドライン(案)につきましては、8月末日まで会員の皆様のご意見を募集しております。

参照 HP：<http://pathology.or.jp/news/whats/nyuganHER2-150613.html>

6. 不審なメールにご注意下さい。

本学会のアンケート調査を騙る不審なメールが平成 27 年 5 月 29 日以降発生しているとの報告がございました。会員におかれては充分なご注意をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。今後本学会からは添付書類の形でのアンケート依頼は原則行わないことといたします。

尚、不審メールの見分け方として、IPA(情報処理推進機構)が公開している資料を掲載いたしますので、参考にして下さい。

IPA テクニカルウォッチ

「標的型攻撃メールの例と見分け方」

<https://www.ipa.go.jp/security/technicalwatch/20150109.html>

7. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

湯本 東吉 功労会員(平成 27 年 2 月 23 日ご逝去)

お知らせ

1. 「再生医療等の安全性の確保等」について

厚生労働省医政局研究開発振興課再生医療研究推進室再生医療等研究係より標記の件につき、周知依頼が参りました。以下厚生労働省 HP をご参照下さい。

参照 HP

<https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kantoshinetsu/jji/saiseiryoku-gyoununaiyou.html>

2. 医師主導により医療機器の開発・事業化支援(周知依頼)

日本医師会では「医師主導による医療機器の開発・事業化支援」につきまして、ホームページを開設し、業務を開始しております。本件は、臨床医による医療機器の開発や事業化について、そのきっかけとなる窓口の提供と事業化

への支援を行うことで、新たな医療機器の開発を促進し、国民により安全で質の高い治療技術を提供していくことを目的とするものです。

参照 HP：<http://jmamdc.med.or.jp/>

3. 第 40 回組織細胞化学講習開催のお知らせ

日程：平成 27 年 8 月 5 日(水)～7 日(金)

場所：帝京平成大学池袋キャンパス/帝京大学医学部大学棟、講義室・実習室

テーマ：「組織細胞化学の新たな展開—見る・観るを通じた生命科学」

主催：日本組織細胞化学会

世話人：帝京大学医学部脳神経外科主任教授

松野 彰

申し込み・詳細：<http://kjshc.nacos.com/>

締切：平成 27 年 7 月 12 日まで延長

※コースにより申し込み受付終了しているものもございます。

4. 「朝日賞」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、7 月 24 日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：朝日新聞文化財団

参照 HP <http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/>

5. 「研究業績褒賞(上原賞)」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、8 月 4 日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人上原記念生命科学財団

参照 HP <http://www.ueharazaidan.or.jp/>

6. 「第 24 回木原記念財団学術賞」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、8 月末日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

参照 HP http://kihara.or.jp/news/news/post_12.html

7. 「東レ科学技術賞」および「東レ科学技術研究助成」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、9 月 9 日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人東レ科学振興会

参照 HP <http://www.toray.co.jp/tsf/>

2015 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

下記の要領にて 2015 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞を公募いたします。

記

賞の名称：IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募資格：日本の医療機関に勤務する若手（論文掲載時 40 歳未満）の病理医
（IAP 日本支部の会員か否は問わない）

選考対象：2014 年 1 月から 12 月の間に雑誌に公表された診断病理分野における優れた英文論文
（1 編）。但し、留学先での仕事ではなく日本での仕事のみ。筆頭著者を原則とする。

受賞者数：3 名以内

賞の内容：賞状と副賞

応募方法

他薦、自薦ともに可とするが、他薦を原則とする。

申請時に必要なもの：

1. 応募者の履歴書
2. 推薦書（推薦人がある場合）ないし、応募理由書（推薦人がいない場合）
A4 用紙 2 枚以内（書式は問わない）
3. 論文の別刷 7 部（1 部はオリジナル、他コピー可）

応募の締切：2015 年 8 月 31 日（当日の消印有効）

宛 先：〒 135 -8550 東京都江東区有明 3-8-31

（公財）がん研究会がん研究所 病理部気付

IAP 日本支部事務局

「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会 宛

選考方法・発表

IAP 日本支部が指名する「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会（日本病理学会、日本臨床細胞学会からの外部委員も参加）において選考する。

なお、受賞者は秋の IAP 日本支部年次総会における表彰式に参加する。

また、受賞者を IAP 日本支部の News Bulletin 紙上で公表する。

以上

2015 年

病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催 日本病理学会後援

日 時：2015（平成 27）年 11 月 7 日（土）

場 所：三井住友海上駿河台新館 TKP ガーデンシティ御茶ノ水

（〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 11-1）

教育シンポジウム 9:00-11:45

テーマ：婦人科腫瘍におけるパラダイムシフト — 新 WHO（2014）分類を読み解く —

モデレーター：三上 芳喜（熊本大学医学部附属病院 病理診断科）

清川 貴子（東京慈恵会医科大学 病理学講座）

- 演 者：1. 三上 芳喜（熊本大学医学部附属病院 病理診断科） 「子宮頸部腫瘍」
2. 柳井 広之（岡山大学病院 病理診断科） 「子宮体部腫瘍」
3. 清川 貴子（東京慈恵会医科大学 病理学講座） 「卵巣腫瘍 — 分類の概要と漿液性腺癌」
4. 森谷 鈴子（滋賀医科大学附属病院 病理部） 「卵巣腫瘍 — 卵巣粘液性腫瘍と seromucinous tumor」

*教育シンポジウムは、当日ご自由にご参加ください。

資格更新単位：日本病理学会病理専門医資格更新単位（参加）5 単位，日本専門医機構専門医資格更新単位（参加）1 単位

参加費：IAP 日本支部会員 3,000 円，非会員 4,000 円（ハンドアウト代を含む）

スライドセミナー

1 時限目 13:15-15:15

- *A-1 胃の腫瘍と腫瘍様病変 九嶋 亮治（滋賀医科大学医学部附属病院 病理診断科）
B-1 新 WHO 分類にもとづく乳腺腫瘍の病理診断 市原 周（国立病院機構名古屋医療センター 病理診断科）
C-1 臨床に役立つ泌尿器（腎・尿路）の病理 都築 豊徳（名古屋第二赤十字病院 病理診断科）
D-1 軟部腫瘍の病理 — 新 WHO 組織分類をふまえて — 久岡 正典（産業医科大学医学部 第一病理学講座）

2 時限目 15:30-17:30

- *A-2 免疫染色診断学の基礎と応用 伊藤 智雄（神戸大学医学部附属病院 病理部 病理診断科）
B-2 悪性リンパ腫の病理 中村 直哉（東海大学医学部基盤診療学系 病理診断学）
C-2 肺癌の病理 野口 雅之（筑波大学大学院人間総合科学研究科 診断病理学研究室）
石川 雄一（公益財団法人がん研究会がん研究所 病理部）
D-2 口腔病理 小川 郁子（広島大学病院 口腔検査センター）

*印は新規コース。スライドセミナーは事前登録が必要です。事前資料としてバーチャルスライドを web 上で公開予定です。

お申し込みは 2015 年 8 月 10 日（月）正午より，IAP のホームページに直接アクセスして，お申し込みください。

資格更新単位：日本病理学会病理専門医資格更新単位（参加）10 単位

日本専門医機構専門医資格更新単位（診療領域別講習）1 時限（2 時間）2 単位

受講料（1 コース）：IAP 日本支部会員 7,000 円，非会員 12,000 円（CD，ハンドアウト代を含む）

詳細・参加登録については IAP ホームページ <http://www.iapjapan.org/index.html> をご参照ください。

連絡先：IAP 日本支部教育委員長 小田 義直
（スライドセミナー担当）
九州大学大学院医学研究院形態機能病理
〒 812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1
TEL：092-642-6061 FAX：092-642-5968

IAP 日本支部 常任幹事 石川 雄一
（教育シンポジウム担当）
（公財）がん研究会がん研究所病理部
〒 135-8550 東京都江東区有明 3-8-31
TEL：03-3520-0111 FAX：03-3570-0558

〈IAP 日本支部入会について〉

IAP 日本支部会員になると様々な特典があります。詳細は IAP 日本支部のホームページを御覧ください。

<http://www.iapjapan.org>

入会申し込みについては，ホームページの入会申込書をダウンロードし，事務局まで Fax もしくは E メールにてお送り下さい。

<http://www.iapjapan.org/membership/index.html>